

アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

パヴェーゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

『中国ゴルフ市場(1)』

近年、日本のゴルフトーナメントだけでなく、米国ツアーでもアジア勢の選手をよく見かけるようになった。特に、中国はオリンピックでのゴルフ競技の復活に伴い、選手の育成に力を入れていると聞いていたが、中国のゴルフ市場はこのところ、鈍い動きを見せている。

一昨年、中国共産党員への「ゴルフ禁止令」が発令されたからである。新倫理規定は正式には「党員が守らなければならない道徳的倫理規定」という名称で、「共産党員は公私を混同せず、公的利益を優先して利他的態度で勤労に励まなければならぬ」としている。この規定の背景には、「接待ゴルフやゴルフ場の建設が、汚職や不正取引を生む温床となっている」とされるためだ。このため、党員はプライベートな場合を除いては、コースでプレーすることも、会員権の所有もできない(プライベートでもプレーすることを控えているようだ)。少し古いものであるが、ある統計によれば、中国国内で年に8回以上ゴルフをプレーする人は、2012年時点で42万人。ほぼ半数を公務員が占めていたとされる。そうなるとゴルフ人口は圧倒的に減少する。中国では、いまだゴルフがスポーツとしてではなく、接待のツール、大人の遊びの延長という捉え方であり、ブルジョワのものというイメージなのだろう。

この半年間で60カ所以上のゴルフ場が閉鎖。これはアルウィン・タイ・中国ゴルフクラブ協会長が香港の英字紙「サウスチャイナ・モーニング・ポスト」に明らかにしたもので、今年も50〜60カ所のゴルフ場の閉鎖が予想されるという。

そんな中、リオデジャネイロオリンピックでは、フォン・シャンシャン選手(中国)が銅メダルを、そして、昨年のTOOTOジャパンクラシックでも優勝を果たした。強い選手が出ることに、中国でもゴルフ熱が高まっているようだ。

最近では少しずつ会員権やプレー代も安くなったこと、強い選手の出現により報道も増え、プロになる夢を持つ若者が出現したことなど、様々な理由で「スポーツ」として確立され、ゴルフの価値が認められたのではないだろうか。今後、大きなゴルフブームが起るかもしれない。楽しみである。



戸張 捷 Sho Tobari

1945年、東京生まれ。
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。